

## 平成 28 年 6 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 6 月 23 日（木）午後 2 時 35 分～午後 3 時 35 分

2. 場 所 職員会館 2 階 大会議室

3. 出席者

委員長 谷口 馨 委員長職務代理者 野口 和江 委員 中野 俊勝  
委員 河野 さおり 教育長 樋口 利彦

4. 事務局出席者

教育総務部長 小山 藤夫／学校教育部長 須賀 俊介／生涯学習部長 濱上 剛志  
総務課長 大西 謙次／学校給食課 山本 隆彦／学校管理課長 山本 千尋  
産業高校学務課長 古谷 利雄／学校教育課長 松村 慎治／人権教育課長 阪本 美奈子  
生涯学習課長 西尾 征樹／スポーツ振興課長 藪 嘉正／郷土文化室長 小堀 頼子  
図書館長 玉井 良治／総務課参事 倉垣 裕行／総務課参事 高井 哲也

**開会 午後 2 時 35 分**

前回会議録について承認された。本会議録署名者に野口委員長職務代理者を指名した。

傍聴人 0 名

**○谷口委員長**

ただいまから、6 月定例教育委員会会議を開催します。

**報告第 42 号 各幼稚園への寄附について**

**○谷口委員長**

報告第 42 号 各幼稚園への寄附について、事務局から説明をお願いします。

**○山本学校管理課長**

報告第 42 号につきましては、各幼稚園への寄附についてです。

ポプラ社の「よみきかせ大型絵本」、「ねずみくんのチョコッキ」8 冊、「ぴよーん」1 冊、「おばけのてんぷら」14 冊の計 23 冊、東宝の「まんが日本昔ばなし」、「DVD-BOX 第 1 集 5 枚組」23 組、学研教育出版の「図鑑セット」、「はっけんずかん全 5 巻」23 組いただいております。

換算額は、合わせまして 654,879 円になり、幼児教育振興のため、国際ソロプチミスト岸和田様より 5 月 31 日にご寄附をいただいております。

**○中野委員**

「よみきかせ大型絵本」は、一度に多くの園児が楽しめるメリットがあります。「まんが日本

昔ばなし」は、伝統的な日本人の心の美しさ、温かさに溢れている話がいっぱい詰まっています、情操教育に良いと思います。「はっけんずかん」は、イラストと写真が交互に出ています。イラストのページに飛び出すような仕組みがあって、子供が喜ぶ内容になっていると思います。園児たちが興味を感じるようなものをよく調べてご寄附いただき、非常に有り難く感謝いたします。

## 報告第 43 号 中学生体験入学の実施について

### ○谷口委員長

報告第 43 号 中学生体験入学の実施について、事務局から説明をお願いします。

### ○古谷産業高校学務課長

報告第 43 号につきましては、中学生体験入学の実施についてです。

産業高校の教育内容、進路状況及び学校生活の紹介と商業科・情報科・デザインシステム科の特色ある科目の授業を実習することにより、産業高校に対する理解と関心を深めていただくため実施させていただきます。7月26日から28日の3日間、学校の紹介等を行います。対象は、中学校3年生及び参加生徒の保護者、教職員に来ていただこうと思っています。周知につきましては、堺市以南の中学校へ案内文を現在送付しているところで、産業高校のホームページでも紹介しております。7月26日及び27日は商業科と情報科、28日はデザインシステム科を予定しております。

### ○谷口委員長

現在、入学している生徒の中に体験入学に来られて、その体験が気に入ったことがきっかけで産業高校に入ったという生徒は何人くらいいますか。

### ○古谷産業高校学務課長

体験入学生の本校入学データはありませんが、平成27年度では、358人来ていただいております。志願者数は291人、平成26年度では、386人来ていただいて志願者数は353人ですが、志願者のうちの体験入学者数についても把握できておりません。

### ○谷口委員長

定員割れのこともありますので、是非、アピールにつながればと考えています。

### ○中野委員

商業科・情報科の体験入学で昨年度と違うところは、昨年度は160名、今年度は120名を想定し、4教室から3教室にしているところから人数を絞り込んだ感じがします。

### ○古谷産業高校学務課長

応募状況を見まして、3クラスで大丈夫だと考えました。

### ○中野委員

もうひとつ、体験授業の時間を30分から40分にすることで、体験授業を濃くされたのかと思います。体験入学で、できるだけインパクトのある内容で生徒に産業高校への進学につながるような取り組みをお願いします。このような取り組みは、体験入学だけでなく、日ごろからの活動で子供たちにアピールすることが大きなことだと思います。

本日の定例会前の協議会で、東岸和田にある壁面に産業高校の生徒の作品を掲示すると聞きましたが、日ごろからのそういう取組みが非常に生きてくると思います。

参考までに、同じ芸術系の公立高校では受賞歴をホームページに載せていて、全国にわたる受賞歴です。こういうことがアピールできれば、すごいことだと思います。体験入学だけでなく、日ごろから外部評価を受けることに大きな意味があると思いますので、是非、その点の工夫、取組みをしていただきたいと思います。

○野口委員長職務代理者

在校生による体験授業の手伝いや、体験している生徒へのアピールをするようなことはありますか。

○古谷産業高校学務課長

授業の準備や補助員等で生徒も関わります。

○野口委員長職務代理者

実習の際、在校生が体験する中学生の傍でアドバイス等を行うことで、学校のイメージがすごく良くなると思いますので、そういうことも、是非、考えていただければと思います。

○谷口委員長

生徒が生き生きとしている姿を見せることが、一番大きな意味があると思います。

○古谷産業高校学務課長

体験入学は今回だけでなく、もう一度してはどうかという声も出ています。

**報告第 44 号 産業高校市民公開講座「簿記講座 3 級」の実施について**

○谷口委員長

報告第 44 号 産業高校市民公開講座「簿記講座 3 級」の実施について、事務局から説明をお願いします。

○古谷産業高校学務課長

報告第 44 号につきましては、産業高校市民公開講座「簿記講座 3 級」の実施についてです。

11 月実施の日商簿記検定 3 級の合格を目指し、学生を除く市内在住者・在勤者を対象に募集をしています。日時は、8 月 30 日から 11 月 18 日までの火曜日及び金曜日の週 2 回、午後 6 時から午後 7 時 30 分までで、全 22 回程度を予定しています。定員は 15 名で、実習費として 2,000 円、講師は産業高校教諭を予定しております。周知は広報きしわだ 8 月号に掲載予定で、往復はがきで 8 月 15 日必着での申込みになります。

○中野委員

目的に日商簿記検定 3 級の合格を設定されていますが、日商簿記検定の内容が変更になりました。以前から時代の変化に対応していなく乖離している、との指摘があったりして今年度から試験の範囲が変わります。そのことが、昨年度の全 30 回から今年度の全 22 回程度に講座回数が縮小したことに関係しているのですか。

○古谷産業高校学務課長

昨年度まで週3回行っていましたが、受講生の負担が大きいようでした。週3回、必ず来られる方が少なく、前回の講座を休まれた方のフォローをしながらやってきましたが、進捗状況が遅れる影響があったようなので、出来るだけ必ず来ていただけるように今年度は週2回に変更させていただきました。週2回にすることで商業科の先生にも確認をしましたが、問題はないということでした。欠席によるフォローをする時間の方が、負担が大きいということです。

○中野委員

去年、講座は時間外のため超過勤務となって教員に負担をかけないか、と質問させていただきました。そういうことも回数を変更した理由にあるのかと思いましたが、生徒の休みの状況から変更したということですね。

○古谷産業高校学務課長

そうです。フォローがかなり大変だったということです。

○中野委員

講座の目的と絡んで気になるのですが、去年の講座の受講者数、検定試験の受験者数と検定合格者数が分かれば教えてください。

○古谷産業高校学務課長

受験者数と合格者数の資料はありませんが、平成27年度の講座受講者数11名中、修了者9名で、平成26年度の講座受講者数10名中、修了者8名でした。

○中野委員

回数が減りますので、講座の中身を濃くしてもらわないと合格者が出にくいように思いますので、その工夫をお願いします。

報告第45号 平成28年度 岸和田市水練学校の開催について

○谷口委員長

報告第45号 平成28年度 岸和田市水練学校の開催について、事務局から説明をお願いします。

○松村学校教育課長

報告第45号につきましては、平成28年度 岸和田市水練学校の開催についてです。

市内小学校5・6年生を対象として、子供たちに正しい泳法を習得させることを通して体力の向上を図り、集団生活訓練の実をあげるために実施いたします。

今年度も野田プールで、土曜日及び日曜日を除く7月21日から8月2日まで、午前8時30分から午前11時30分までの時間で実施します。募集定員は約800名で、受講料3,600円と保険料300円の合計3,900円徴収します。申込みにつきましては、各学校でとりまとめ、6月28日までに学校教育課へ申込みとなります。指導講師は、小・中学校の教職員にお願いします。

**○野口委員長職務代理者**

若い先生が指導者として参加していますが、今、多くの若い先生が入ってくる中、先生方の水泳の指導技術はどうでしょうか。水泳の基礎を子供たちに正しく伝えられるくらいの技術を持っているのか、それとも先生自身も研修を積まないといけない傾向にあるのでしょうか

**○松村学校教育課長**

水練学校の中でも、終了したあとにベテランの先生に泳法を見せていただくこともしています。毎年6月末に水泳指導者講習会を開き、特に初任者や経験の浅い先生を中心に参加していただいています。平泳ぎ等の泳法や指導法を身に付けてもらわなければならない、ということで毎年開催しています。

**○中野委員**

先月の会議でも言いましたが、昨年度から初心者水泳教室に小学校4年生が参加できるようになりました。それまでは、3年生で一旦途切れて翌々年の水練学校に5年生で参加するということでしたが、今は初心者水泳教室から継続して水練学校にという形になっていますので、水練学校の成果を期待したいと思います。

**○谷口委員長**

初心者水泳教室の保険は死亡時500万円となっていました。水練学校の保険も同じでしょうか。

**○松村学校教育課長**

今、その数字は持っていませんが、昨年から加入しています契約内容は大きく変更していませんので、昨年同様となります。数字につきましては、またお伝えします。

**○谷口委員長**

指導される先生方にも保険加入はされていますか。

**○松村学校教育課長**

指導者の保険は別になります。説明しました保険は子供たちが加入する保険になります。

**○中野委員**

保険というのは御守りのようなもので、実際にお世話にならない方が良いと思いますので、安全面についてはよろしくお願ひします。

**○野口委員長職務代理者**

毎年、浜寺水練学校の記事が新聞に載っていますが、岸和田の水練学校は非常に歴史も長く、子供たちも泳力をしっかりと身に付けているので、是非、メディアに訴え、何かの形でアピールできれば良いと思います。岸和田の教育のひとつの誇りだと思いますので、是非、アピールしてください。

**○松村学校教育課長**

Webページを使い広く発信していければと思います。

## 報告第 46 号 平成 27 年度 岸和田市立中学校卒業生の進路状況について

### ○谷口委員長

報告第 46 号 平成 27 年度 岸和田市立中学校卒業生の進路状況について、事務局から説明をお願いします。

### ○阪本人権教育課長

報告第 46 号につきましては、平成 27 年度 岸和田市立中学校卒業生の進路状況についてです。高等学校等に進学した者 1,951 名 (98.5%)、進学及び就職した者 1 名 (0.05%)、就職した者 7 名 (0.35%) 専修学校等に進学した者 26 名 (1.3%)、その他 9 名 (0.5%)、合計 1,980 名です。専修学校等へ進学した者の中には、通信制を受けることで高等学校等への進学にもなりますので、14 名 (0.7%) を再掲しております。平成 27 年度の状況としては、進学の方へ向いたのかと思います。就職につきましては、平成 26 年度と平成 27 年度とを比べて減ったという状況になっています。

### ○野口委員長職務代理者

その他 9 名の中のその他 4 名は、どのような生徒なのでしょうか。

### ○阪本人権教育課長

海外留学予定者、アルバイト等の 4 名になります。

### ○河野委員

アルバイトをされる方は、自分で希望してアルバイトをされるのですか。希望は進学だが、やむを得ずアルバイトになったのでしょうか。

### ○阪本人権教育課長

子供と保護者が、進学ではなくアルバイトと決めました。

### ○中野委員

大阪府の全日制の私立高校に進学した者 513 名、通信制の課程 75 名で、昨年度より増えているのが目立ちます。公立高校の入試が複雑になったので私立高校を希望した、あるいは公立高校の入試が予想と違い上手くいかずに、結果、私立に進学したことで増えたのか、という感じはします。通信制の課程につきましては、自学自習なので基本的な学習態度が出来ていないとなかなか難しいと思います。そういう点で、人数が増えているのが気になります。

先ほど説明のあった専修学校等に進学した者と重複していることも要因にありますか。

### ○阪本人権教育課長

その人数が入っているということもありますし、岸和田駅前に通信制の学校ができたので、選択肢の中で子供たちがその学校を選んだということが考えられます。

### ○中野委員

中学校でしっかりと進路指導してくれていると思いますが、通信制を安易に考えるとなかなか卒業できない要素がありますので気になりました。公立高校の進学につきましては、普通科志向が一層強くなるのではないかと去年も指摘しましたが、平成 27 年度の様子を教えてください。

### ○阪本人権教育課長

実際の数字はなかなか把握できませんが、入試が1回になって専門学科の特別入試が後ろになり、その時に子供たちが何を選ぶのかをきちんと目標が定まっていれば専門学科のある学校を選ぶが、目標が漠然としていて普通科を志望しているのではないかと考えています。そのことについては、キャリア教育や進路についての学習をもっと深めなければいけない部分だと思えます。

### ○中野委員

平成26年度の進学結果につきましては、各学科の数字をあげてくれていましたので、解った段階で教えてください。

### ○阪本人権教育課長

全日制ですが、普通科1,266名、総合学科159名、商業科138名、農業に関する学科6名、工業に関する学科102名、その他の学科160名となっています。定時制等を含めると数字は変わってくると思います。

### ○谷口委員長

私立高校に進学した者で、平成26年度だけ大幅に減少して、平成27年度で元の進学者数に戻していますが、その時に何かの要素があったのでしょうか。

### ○中野委員

授業料が所得を反映するようになったのが、この年からではないですか。

### ○大西総務課長

授業料の無償化が終了して、支援金という形で所得の多い世帯については無償にならないように切り替わったのが、平成26年度からだったと思います。

## 報告第47号 平成28年度「暴走族追放・少年非行防止強調月間」

### 「第66回 社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ 強調月間」

### ○谷口委員長

報告第47号 平成28年度「暴走族追放・少年非行防止強調月間」

「第66回 社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ 強調月間」について、事務局から説明をお願いします。

### ○西尾生涯学習課長

報告第47号につきましては、平成28年度「暴走族追放・少年非行防止強調月間」

「第66回 社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ 強調月間」についてです。

内閣府主唱の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、大阪府の「少年非行・被害防止強調月間 暴走族追放強調月間」と法務省主唱の「社会を明るくする運動」合同で、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生についての理解を深めていくということで、毎年、実施させていただいています市民集会です。主催は、社会を明るくする運動岸和田地区推進委員会と岸和田市青

少年問題協議会です。7月9日に午後2時から午後4時30分まで岸和田市立文化会館（マドカホール）で開催されます。オープニングを葛城中学校吹奏楽部にお願いしております。小中学生作文コンテスト表彰と発表を小学生3名、中学生3名にお願いしています。また、ゴスペル歌手の市岡裕子氏に「人生あきらめたらあかん～足りないものに不平不満を言わず、あるものに感謝～」をテーマに講演していただきます。また、岸和田地区保護司会、岸和田地区更生保護女性会、岸和田地区協力雇用主会が主管として関わっていただいております。

○谷口委員長

小・中学生の作文は、どこかに掲示や広報に載るなどの活用はありますか。

○西尾生涯学習課長

作品は岸和田エリアの中で選び、大阪府、近畿、全国に持っていきますので、作品自体はコピーとしておいていますが、こういう内容ですという公表はしていません。

○谷口委員長

別のコンクール表彰作品は、掲示したりして好評をいただいております。折角、良い作文が出来ていると思いますので、その点もお願いします。

○西尾生涯学習課長

考えます。

○中野委員

去年の11月3日に国道26号で集団暴走をして逮捕者が出ました。そのような危険なことをしているのかと腹立たしく思いました。また、本市に関連のある元プロ野球選手が、多くの野球ファンの思いを裏切って覚せい剤取締法違反で先月、有罪判決を受けました。今後、しっかりと更生して社会復帰を果たしてもらいたいと思っています。

今回の市民集会の主催、主管していただいております多くの方々が、犯罪や非行した方の更生のために活動していただいております。この取組みが、安心・安全な明るい地域社会を築くことに繋がるよう願っております。

**報告第48号 第29回濱田青陵賞受賞者の決定について**

○谷口委員長

報告第48号 第29回濱田青陵賞受賞者の決定について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

報告第48号につきましては、第29回濱田青陵賞受賞者の決定についてです。

濱田青陵賞は、本市と朝日新聞社で考古学に業績のあった若手の研究者に、後人の育成に努めた濱田氏の思想を尊重して表彰するものです。今回で第29回目、29年という長い歴史を持っている賞です。6月13日に朝日新聞社で選考委員会を開催し、受賞者は、下垣仁志様、1975年東京生まれの41歳の方で、現職は京都大学で准教授をなされています。業績は、古墳時代の王権構造に関する考古学的研究です。論著の中に『三角縁神獣鏡研究辞典』があり、銅鏡の研究で中国では銅鏡は装身具のひとつとして扱われていて、古代日本では身分を示す宝の器であるとか、



神の器であるとか、そういう風に重視されて古代史解明のための最重要資料であると、下垣氏は研究されています。特に三角縁神獣鏡は、卑弥呼の鏡として多くの研究がなされていて、研究プロセスについては古代日本の研究を大きく推進させたと評価された内容です。

受賞者の発表ですが、濱田青陵氏の命日にあたります7月25日の午後にプレス発表、翌26日に朝日新聞の紙面に掲載予定となっております。広報きしわだにつきましては、8月号に掲載予定で、授賞式を9月22日にマドカホールで予定しております。

#### ○中野委員

古墳から出土した銅鏡などの史料に基づき、倭王権についての研究が評価されたのだらうと思います。三角縁神獣鏡の研究もあって、その鏡の生産地の議論から邪馬台国の畿内説あるいは九州説にどうつながるのか、今からシンポジウムを楽しみにしています。

#### ○谷口委員長

予定していました報告は以上です。他に何かありませんか。  
ないようですので、議案の審議に移ります。

### 議案第28号 平成29年度 岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針について

#### ○谷口委員長

議案第28号 平成29年度 岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針について、事務局から説明をお願いします。

#### ○古谷産業高校学務課長

議案第28号につきましては、平成29年度 岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針についてです。

平成29年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針が定められていますので、岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針として、全般的な事項として応募資格、学力検査等、提出書類、募集人員、通学区域を、各入学者選抜の具体的な事項として特別入学者選抜、一般入学者選抜、二次入学者選抜について定めるものです。大きく変わっていますが、英語の試験です。英語力判定テストを受けた成績によって、一定の点数が確保されている点が変わったところです。

#### ○野口委員長職務代理者

全日制の課程専門学科に、“商業に関する学科”を表記されていますが、商業科と情報科が入るのですか。

#### ○古谷産業高校学務課長

大科目が商業になります。

#### ○野口委員長職務代理者

入試の時は、商業科か情報科を選べるのですか。

#### ○古谷産業高校学務課長

選べます。

○谷口委員長

他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 29 号 平成 29 年度 岸和田市立産業高等学校入学者選抜における学力検査問題の選択、  
配点比率及びアドミッションポリシーについて

○谷口委員長

議案第 29 号 平成 29 年度 岸和田市立産業高等学校入学者選抜における学力検査問題の選択、  
配点比率及びアドミッションポリシーについて、事務局から説明をお願いします。

○古谷産業高校学務課長

議案第 29 号につきましては、平成 29 年度 岸和田市立産業高等学校入学者選抜における学力  
検査問題の選択、配点比率及びアドミッションポリシーについてです。

大阪府教育委員会より国語、数学、英語の学力検査問題について、特別選抜については 2 種類、  
一般選抜については 3 種類作成されていますが、平成 29 年度入学者選抜に向けて使用する問題  
を選択するとともに、配点比率及びアドミッションポリシーについて定めるものです。全日制の  
特別入学者選抜及び一般入学者選抜につきましては“標準的問題”を、定時制の一般入学者選抜  
につきましては“基礎的問題”を選択させていただこうと思っています。学力検査の成績と調査  
書の評定の比率は、特別及び一般入学者選抜とも「5 対 5」の考えです。アドミッションポリシ  
ーにつきましては、全日制で昨年の商業科志望者と情報科志望者とを分けて記載していた項目を、  
商業科・情報科志望者とひとつに変更させていただいております。

○中野委員

先ほどの議案第 28 号で“学力検査の合計と調査書の評定の合計に倍率をそれぞれに乗じた合  
計点数に、実技検査の成績を加え、『総合点』とする。”とありました。この議案では、“学力検  
査と調査書”の合計を『総合点』と記載していますが間違いですね。『総合点』は、“学力検査と  
調査書”の合計点数に実技検査の点数を加えたものを言います。「学力検査の成績」と「調査書  
の評定」の比率を表わす表だと思いましたが、『総合点』という記載は間違えています。

○古谷産業高校学務課長

表題に“「学力検査の成績」と「調査書の評定」の比率について”とあり、この二点について  
の書き方をしているものです。

○中野委員

そうですが、『総合点』とはっきり書くのは良くないと思います。

○阪本人権教育課長

あくまでも比率を定める表になりますので、参考に見ていただくのが良いのかと思います。

○中野委員

それは事情の分かっている者の解釈であって、受験者のことを考えると実態に即した表現が良  
いと思いますので、考えていただければと思います。

○古谷産業高校学務課長

「学力検査の成績」と「調査書の評定」の比率を決めるための資料ですので、ご理解いただきたい。このまま出すということではなく、岸和田市教育委員会として市立産業高校についての比率を決める資料になります。

○中野委員

それでは、「計」という表現であれば何も問題はありません。『総合点』と書くことがおかしいと思います。

○谷口委員長

大阪府から出された資料ということもありますが、事務局で検討していただければと思います。他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 30 号 教職員人事について

○谷口委員長

議案第 30 号は人事案件でございますので、非公開とさせていただきますがよろしいでしょうか。

○谷口委員長

非公開への賛同がございましたので、そのようにさせていただきます。関係者以外は退席願います。

(教職員人事について審議され、承認された。)

○谷口委員長

これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 3 時 35 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員